



# 玉北小だより

かしこく  
やさしく  
たくましく

小美玉市立玉里北小学校  
平成29年4月18日  
No. 2

4 / 7 (金) 入学式の校長式辞で以下のような話をしました。一部を掲載します。

楽しい学校生活を送るために守ってほしい約束

## 1 命を大切にす

特に道路への飛び出しや危ないことはしないという約束を必ず守りましょう。だれにも一つしかない大切な命です。大事に、大事にしましょう。

## 2 話をよく聞く

先生やお友達の話をよく聞くことは、とても大切なことです。話をしている人を見て聞くことで、たくさんのがわかるようになります。考える力をどんどん伸ばしていきましょう。

2つの約束をしっかりと守る玉里北小の1年生を応援しています。

右の写真は、1年生のはじめての給食準備の様子です。配膳の仕方や当番の仕事内容についての話をよく聞き(上の写真)、実際に当番の仕事をしているところです。(下の写真)この様子を見ていて、前校長の大山先生が校長室に残していつくくださった相田みつをさんのことばと重なりました。



よく聞いて

体験して  
はじめて  
身につくんだなあ

『生きていてよかった』(相田みつを)より

話をよく聞いてわかったことや考えたことを、実際に自分で体験しなければ、できるようにはなりません。たとえば、鉄棒や自転車乗り、跳び箱、水泳など、スポーツは特にそうです。

スポーツだけでなく、子どもたちにとって身近なところでは、掃除や当番活動も同様です。

はじめはできなくても、まねをさせてみて、できたらほめてあげればいいのです。ほめられたことで、自信がつき、自分でやってみようようになるものです。大人がやってしまえば、簡単です。しかも、きれいにできることも多いです。しかし、うまくできなくても、子どもにとっては貴重な体験、大事な体験です。

力を付け、伸びようとしている子どもたちの秘めたパワーはすごいのです。



体験して

## 子どもの目

私が昼休みに、散った桜の花びらを掃いていたときの事です。3年生の女の子がサッと手伝いに来て、楽しそうにたくさん花びらを集めてくれました。花びらの中には、水に濡れてきれいとはいえないものもたくさんありました。しかし、「きれいな花を楽しませてもらったから、きれいにそうじをして、桜の花に恩返し」との3年生の女の子のことば。心の優しさや感性の豊かさを感じました。この子どもたちの心、大切に守り育てていきたいです。